

科目名・科目番号 (023332)		教員名 山田 圭介	学科等	社会福祉・選択	履修年次	3.4
臨床心理学演習			曜日・時限等	月曜1時限・通年	単位数	4
			オフィスアワー	水曜日・2時限	B213研究室	
授業概要 とねらい	具体的な自己理解の体験やグループワークを通して、臨床心理学的に人の心や関係を見て考える方法、および臨床心理学的な援助技術を習得する。					
到達目標	人間関係を臨床心理学的に理解する方法を知り、実践的に心理的援助を行う技術が身に付くようになる。					
準備学習	毎回の講義後にワークの振り返りを中心とした小レポートを課す。次回の講義の際に提出し、それをもって出席とみなす。					
授業計画	回	授業内容	行動目標			
	1	オリエンテーション	授業の進め方について理解する			
	2	自己理解と他者理解(1)	ワーク体験(自分の大切なもの)を通して、自己理解と他者理解の大切さを理解する			
	3	自己理解と他者理解(2)	ワーク体験(三項随伴性による行動分析)を通して、自己や他人の行動が維持される仕組みを理解する。			
	4	自己理解と他者理解(3)	ワーク体験(筋弛緩法・呼吸法・自律訓練法)によるリラクセーションを通して、心身の変化を実感する			
	5	自己理解と他者理解(4)	ワーク体験(出さない手紙)を通して、自己理解と他者理解の大切さを理解する			
	6	自己理解と他者理解(5)	ワーク体験(人生の縮図)を通して、自分の過去を振り返る			
	7	他者との対面(1)	ワーク体験(対面姿勢と会話)を通して、他者と対面するときの配慮を理解する			
	8	他者との対面(2)	ワーク体験(非言語と会話)を通して、他者と対面するときの配慮を理解する			
	9	心理療法の基礎技法(1)	心理的援助の基礎技法について、その概要を理解する			
	10	心理療法の基礎技法(2)	共感の技法について、想定場面での対応を考えることで理解する			
	11	心理療法の基礎技法(3)	共感の技法について、ロールプレイを通して理解する			
	12	心理療法の基礎技法(4)	純粋性の技法について、想定場面での対応を考えることで理解する			
	13	心理療法の基礎技法(5)	純粋性の技法について、ロールプレイを通して理解する			
	14	心理療法の基礎技法(6)	沈黙への対応技法について、想定場面での対応を考えることで理解する			
15	心理療法の基礎技法(7)	沈黙への対応技法について、ロールプレイを通して理解する				

	回	授業内容	行動目標
授業計画	16	心理療法の基礎技法(8)	くり返しと質問の技法について, 想定場面での対応を考えることで理解する
	17	心理療法の基礎技法(9)	くり返しと質問の技法について, ロールプレイを通して理解する
	18	心理療法の基礎技法(10)	明確化の技法について, 想定場面での対応を考えることで理解する
	19	心理療法の基礎技法(11)	明確化の技法について, ロールプレイを通して理解する
	20	心理療法の基礎技法(12)	直面化の技法について, 想定場面での対応を考えることで理解する
	21	心理療法の基礎技法(13)	直面化の技法について, ロールプレイを通して理解する
	22	心理療法の基礎技法(14)	支持の技法について, 想定場面での対応を考えることで理解する
	23	心理療法の基礎技法(15)	支持の技法について, ロールプレイを通して理解する
	24	実技演習(1)	実際に心理面接場面のロールプレイを行い, ビデオ撮影する①
	25	実技演習(2)	ビデオ撮影した心理面接場面のロールプレイを検討する①
	26	実技演習(3)	実際に心理面接場面のロールプレイを行い, ビデオ撮影する②
	27	実技演習(4)	ビデオ撮影した心理面接場面のロールプレイを検討する②
	28	実技演習(5)	実際に心理面接場面のロールプレイを行う, ビデオ撮影する③
29	実技演習(6)	ビデオ撮影した心理面接場面のロールプレイを検討する③	
30	実技総合演習	これまでの知識・技法をふまえ, 総合演習を行う	
成績評価の方法・基準	授業内の課題を重視する(60%)。実技演習を行い, 学年末に自己分析レポートを提出する(40%)こととあわせて, 総合評価する。		
教科書	書名 指定なし。必要な講義資料を配付する。	著者	発行所
参考図書	書名 指定なし。適宜, 紹介する。	著者	発行所
教員からのメッセージ	受講生は「心理学」及び「臨床心理学」をすでに受講していることが望ましい。グループワークが中心の実践的内容であり欠席する者は単位を取得できない。出席していても, 参加状況により単位を認めないことがある。なお, グループワークの中には精神的な負担が大きいものも含まれる。参加する場合は覚悟すること。前期に4回以上欠席した者は以降の参加を認めない。		